

イングリッシュ・トライアル

「イングリッシュ・トライアル」は、英会話への興味・関心を高めるため、積極的に英会話に挑戦する機会を設けるという道教委が企画したものです。今回は、えりも中学校の特別教室を利用して中学3年生を対象に実施されました。

えりも中学校・えりも高校の英語教員とALTが「サテライト」と呼ばれる部屋で生徒を待ち受けます。各サテライトでは、「道案内」や「観光ガイド」、「買い物」などの場面設定をして、その場で考え、咄嗟に答える能力が求められます。最初は緊張気味な生徒たちでしたが、感想を聞くと「すごく楽しかった!」「またやりたい!」などの声が寄せられました。中高連携の強みを様々な場面で活かし、次年度以降も様々な取組ができればと思います。



中学生に訊く～中高一貫教育について

連携入試が無事終わり、えりも中学校からは38名がえりも高校に進学することになりました。えりも中学校の生徒が、中高一貫教育を実際に体験してどのようなことを感じたのか、生徒の声をまとめてみました。

◎職業別ガイダンスについて(8月23日)

- ・将来の夢はもっと先の話だと思ってあまり考えていませんでした。
- ・「働く」ということは、決して簡単な事ではなく、将来自分のために、まずは知識をつけることが大切なのだとわかりました。
- ・事務系の講義を受けましたが、どの職業も中学、高校の勉強が中心になっているので、今の勉強が大切だと感じました。

◎中学生面談について(11月29日)

- ・初めて面接をしました。自分自身のことや、これからのことを考える良いきっかけとすることができました。
- ・普段の授業のときにする礼も大切だと思ってしっかりやるようになりました。

◎進路講話について(12月8日)

- ・将来のために役に立つ話を聞くことができました。公務員や大学に進学するためにはどのようなことが必要なかがわかりました。
- ・自分のやりたいことを見つけること、それに向かってコツコツと努力し続けることが大切だということがわかりました。
- ・家での勉強時間を増やそうと思いました。また、将来の職業も具体的になってきました。

生徒たちは、中高一貫教育の様々な取り組みを通して、将来のことを考えたり、敬語を使ったりすること、また、相手の気持ちを考えることなどの多くのことを学びました。

えりもの子のより一層の成長を期待します。